

修学旅行Report vol.4

4日目 5月18日(金) 帰校式・そして…

3泊4日の修学旅行が終わりました。大きな事故やケガもなく無事に家庭に帰ることができて何よりです。

もちろん、生徒たちの活動には、時間等のきまりやマナーが守れなかった等の反省点もありました。しかし、実行委員長を中心に生徒たちで話し合い、日々課題が解決されていくという素晴らしい姿も見られました。「修学旅行で学んだことを学校生活で活かしていこう」という言葉が、先生からではなく生徒たちから出たところにも感心させられます。

帰校式では、みんな疲れ果てているにもかかわらず、顔をあげてしっかり校長先生のお話を聞いていました。これまでの取り組み、そしてこの4日間の旅行での成長を実感しました。



修学旅行を終えて ～実行委員長：樋場秀作くん～

私たち3学年は修学旅行のスローガンを「輝笑天結～絆を深める銀河鉄道の旅」とし、3泊4日の旅で大きく成長することができました。また旅の最初に校長先生から話し合いの基本として「**good Bad Next**」とのお話がありました。そこで今回の修学旅行全体をこの3つ観点から話しをしていきます。

一つ目のgoodです。

- ・ 時間を守って行動でき、班別行動では班ごとに力を合わせて行動できました。
- ・ 学校外でもあいさつができる生徒が多くいました。
- ・ ケガや病気がなく、みんなが健康に山形へ帰ることができました。

二つ目のbadです。

- ・ 新幹線でさわがしくなり、他のお客さんに迷惑をかけてしまった。
- ・ 集合時間には集まるのだが、騒がしくなってしまった。
- ・ 函館山の夜景観賞で、他のお客さんに迷惑がかかる行動があった。

そこで、実行委員会で3つ目のNextについて話し合いました。

- ・ 電車に乗車中に騒がしくなった場合には実行委員が注意をする。
- ・ しおりを見て行動することを重点にし、集合時間に騒がしくなった場合には、実行委員や班長が呼びかけを行う。
- ・ 周りに迷惑がかからないように班長の呼びかけで班行動を行う。

このような対策を行ったことで、badである課題を解決することができました。このようにさまざまな対策を考えて行動することで、みんなが気持ちよく楽しく過ごすことができました。集団で生活するうえで課題は必ず出てきますが、これからも話し合い・そして対策を実行することで解決していきたいと思います。またあいさつの部分や先を見越して行動することなど、日頃の習慣が大切なことがわかりました。今後も大切なことが習慣化できるようにしていきたいです。